



地域の未来への架け橋になれたら幸せ

小柳 芳恵さん (高月町重則)

赤いエプロン隊 隊長

撮影場所：北商工会高月事務所西

「おいしい“キム・チンいなり”はいかがですか」。地元のイベントで小柳さんの威勢のいい声が響きます。

キム・チンいなりは、小柳さんが旧高月町商工会の女性部長だった平成24年に誕生。地域を挙げてキムチの特産品化に取り組んできたノウハウを生かし、女性部のメンバーで作りあげたものです。焼きそば、もやし、豚肉、ニラを本格キムチのたれで和え、薄あげで包み、最後に鉄板で軽く焼いたもの。その味は大豆の香ばしい香りと甘み、ピリッと辛いキムチとが絶妙にマッチ。食感も楽しめ、おいしいB級グルメとして、少しずつ知られるようになりました。

小柳さんは女性部長を退任後も地域の活性化を願い、商工会つながりで「赤いエプロン隊」を結成。各地のイベントで「高月の味」とおして地元の良さをPRしようと、地元産の野菜や穀物にこだわり、ししとう味噌、そば粉の焼き菓子、揚げた黒豆などを相次いで商品化。「地元の人にはもちろんのこと、長浜土産としても選んでもらえたら」と、木ノ本駅・高月駅構内や農産物直売所、きのもと Ika's(イカス)へも卸しています。

県外から高月へ嫁いだ小柳さんは、独身の頃から活発で企画好き。当時は、「何にもない所で、奥ゆかしいというか、外へアピールすることが苦手な人が多い」と感じていたそう。そんな意識が変わったのは20年ほど前に、「ほのぼのした手作りのもてなしに魅せられて毎年やってくるんです」とい

う、ふるさと祭りに訪れた人の言葉を聞いた時。心が洗われる思いだったと言います。以来、昔から伝わる家庭のお惣菜、琵琶湖のある景色や人々が守り継ぐ観音様など、「他に誇れるものがたくさんある」と感じるようになり、地域の良さが見えてきたと言います。

「やると決めたら一生懸命取り組む性分。悔いのないように生きたい」と話す小柳さん。町の魅力を発信するため、仲間とともに更なる特産品づくりに意欲を燃やします。

「地域の人の温かい心と力を合わせてもっとまちを活気づかせ、若い人にどんどん活躍してもらいたい。私はその人たちと地域の未来とをつなぐ架け橋になれれば」。小柳さんの活動は続きます。

「やると決めたら一生懸命取り組む性分。悔いのないように生きたい」と話す小柳さん。町の魅力を発信するため、仲間とともに更なる特産品づくりに意欲を燃やします。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報室 (☎65-6504) まで申込みください。



東野

朱里ちゃん (平成25年9月生まれ)

(勝町)



古藤

湊ちゃん (平成25年12月生まれ)

(三田町)

お散歩大好き、漢です。これからもよく食べよく遊び、元気いっぱい育ってね。

あつという間に1歳になった朱里。これからもういっぱい泣いて笑って、希望あふれる日々を過ごしてほしいね！

まちな 人口	平成26年9月1日現在	人口 121,997人	男 59,623人	女 62,374人	世帯数 44,511世帯
	平成26年8月中の異動	転入 207人	転出 232人	出生 92人	死亡 101人 婚姻 33件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報室まで。